

令和7年度 産業保健スタッフ、人事労務担当者向け ゲートキーパー研修

ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけてあげられる人のことです。
特別な研修や資格は必要ありません。
誰でもゲートキーパーになることができます。

働く人のための メンタルヘルス・ファーストエイド ～同僚のこころの不調サインに気づいたら～

自殺対策において人材育成は重要であり、広島県においてもその一つとして、ゲートキーパーの養成を推進しています。
本研修会は、自殺者数が増加している中高年層に関わる人事・労務管理者等を対象に、従業員を含めた周りの人の心の不調に気づき、適切に対処できるように、自殺予防の基本的知識や対応方法、連携についての理解を深めることを目的として開催します。

申し込み方法

広島産業保健総合支援センター
ホームページ ▶ 研修のご案内
<https://www.hiroshimas.johas.go.jp>

広島産保



* 開催前日までに、事務局より研修会の招待メールをお送りします。

* Zoom入室後は、マイクをオフ（ミュート）のうえ、開催時間までお待ちください。

申し込み期限

1月8日（木）



参加費

無料

日時

令和8年1月14日（水）
14:00～15:30

定員

ZOOMによるオンライン開催
定員100名（先着順）
* 定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。

講師

北海道大学大学院医学研究院
神経病態学分野精神医学教室
教授

加藤 隆弘 氏

対象

- * 人事・労務管理者
- * 産業保健スタッフ
（産業医、保健師、看護師、衛生管理者等）
- * 県市町人事担当職員及び
精神保健福祉担当職員等

主催・お問合せ先

独立行政法人労働者健康安全機構

広島産業保健総合支援センター

広島県立総合精神保健福祉センター

082-224-1361

082-884-1051